

2022 年度 事業報告書・決算書

自 2022 年4月1日

至 2023 年3月31日

一般社団法人 **日本オートキャンプ協会**

2022 年度事業報告書

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

1. オートキャンプの普及促進

(1)「新型コロナウイルス対応ガイドライン」の改訂

新型コロナウイルス感染拡大の中で、できる限り安全にキャンプを楽しむためのガイドラインをまとめ、オートキャンプ場での感染防止策とキャンパーが講じる対策としてウェブサイトにおいて発表した。

2022 年 12 月 6 日 「新型コロナウイルス対応ガイドライン」
第 6 回改訂(観光庁監修による)

(2)「アウトドアデイジャパン 2022」の主催

① アウトドアデイジャパン 2022 東京

開催日 : 2022 年 4 月 2 日(土)～3 日(日)
場 所 : 都立代々木公園B地区イベント広場・野外ステージ(東京都渋谷区)
来場者 : 30,710 人

②アウトドアデイジャパン 2022 福岡

開催日 : 2022 年 4 月 16 日(土)～17 日(日)
場 所 : 舞鶴公園鴻臚館広場(福岡市中央区)
来場者 : 21,525 人

③ アウトドアデイジャパン 2022 名古屋

開催日 : 2022 年 5 月 14 日(土)～15 日(日)
場 所 : 名古屋港 ガーデンふ頭ひがし広場・つどいの広場(名古屋市港区)
来場者数 : 31,012 人

④アウトドアデイジャパン 2022 札幌

開催日 : 2022 年 6 月 4 日(土)～5 日(日)
場 所 : 北海道庁赤レンガ庁舎前庭・北 3 条広場赤プラ(札幌市中央区)
来場者 : 27,687 人

⑤ アウトドアデイジャパン 2022 大阪

開催日 : 2022 年 9 月 24 日(土)～25 日(日)
場 所 : 花博記念公園 鶴見緑地
来場者 : 52,893 人

(3) 第17回「オートキャンプの日」事業

コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(4) 「第51回ジャパンキャンピングラリー」の開催（「JAC 北海道の集い」と併催）

開催日 : 2022年6月25日(土)～6月26日(日)
場 所 : マオイオートランド(北海道長沼町)
主 催 : 日本オートキャンプ協会
主 幹 : JAC 北海道
参加者 : 40組 91人

(5) 地域ブロック大会の主催

JAC 北海道、JAC 関東、JAC近畿に対して参加組数に応じた補助金を支給し、オートキャンプの普及促進を支援した。

① JAC関東の集い

開催日 : 2022年5月21日(土)～22日(日)
場 所 : 朝霧高原オートキャンプ場(静岡県富士宮市)
主 幹 : JAC関東
参加者 : 79人

② 北海道オートキャンプ大会(第51回ジャパンキャンピングラリーと併催)

開催日 : 2022年6月25日(土)～26日(日)
場 所 : マオイオートランド(北海道長沼町)
主 幹 : JAC北海道
参加者 : 40組 91人

③ JAC近畿の集い

開催日 : 2022年5月28日(土)～5月29日(日)
場 所 : 野口オートキャンプ場(和歌山県御坊市)
主 幹 : JAC近畿
参加者 : 26組 60人

④ JAC関東の集い

開催日 : 2022年10月29日(土)～30日(日)
場 所 : 朝霧高原オートキャンプ場(静岡県富士宮市)
主 幹 : JAC関東
参加者 : 30組 73人

(6) オートキャンプの普及促進のための支援・協賛

みんなのキャンプ教室(後援)

開催日:2022年5月28日(土)~5月29日(日)

場 所:リバーパーク長瀬オートキャンプ場(埼玉県長瀬町)

主 催:IFCC(インターナショナル・ファミリーキャンピングクラブ)

参加者:11組27人

第15回 BIWAKO アウトドアフェスタ 2022(後援)

開催日:2022年6月4日(土)~6月5日(日)

場 所:マイアミ浜オートキャンプ場(滋賀県野洲市)

主 催:第15回 BIWAKO アウトドアフェスタ 2022 実行委員会

第47回青森県ファミリーオートキャンプ大会(後援)

開催日:2022年8月20日(土)~8月21日(日)

場 所:モヤヒルズオートキャンプ場(青森県青森市)

主 催:青森県オートキャンプ協会

参加者:32組、116名

(7) 会員制度の充実と会員数増大策の推進

①個人会員 オートキャンプロケーションガイドの配布

②団体会員(オートキャンプ場)

オートキャンプロケーションガイド、メールマガジン、ホームページで会員情報を発信。

③団体会員(用具・用品及びRV・施設関連)

オートキャンプロケーションガイド、メールマガジン、ホームページで会員情報を発信。

(8) 収益事業の拡充

① 年間を通して、焼肉網洗浄剤及び木炭の販売を行った。

② ホームページへのバナー広告等広報媒体として活用を図った。

③ 会員キャンプ場のネットワークを活用しサンプリング事業を行った。

2. オートキャンプに関する相談及び支援

(1) オートキャンプ場整備事業

公設キャンプ場に集会用テント(一般財団法人日本宝くじ協会助成事業)を配布した。

- ① 公設キャンプ場への配布 32張 (2022年8月)

(2) 星マーク認定制度の実施

間木の平グリーンパーク(青森県) 2つ星から3つ星に
喜連川ファミリーキャンプ場(栃木県) 2つ星から3つ星に

星マーク認定状況 (2023年3月31日現在)

	認定キャンプ場数
星5	10か所
星4	14か所
星3	5か所

(3) 公認オートキャンプ指導者の活動促進

- ① 公認オートキャンプ指導者資格認定講習会等で講師を依頼
② 7月30日群馬県前橋市公民館でのキャンプ教室に講師派遣
③ 10月1日埼玉県蓮田市の防災キャンプに講師派遣

(4) オートキャンプ場総合保険の取り扱いの推進

施設所有(管理)者賠償責任保険、見舞金保険、経営者・従業員傷害保険の斡旋。
(2022年度契約数 138 2021年度契約数 129 キャンプ場)

3. オートキャンプに関する広報

(1) メールマガジンの配信

キャンパー向けメールマガジン「オートキャンプ」を毎月15日に配信
会員と一般キャンパーに約1000名に向けて配信

業界向けメールマガジン「JAC ビジネスレポート」を毎月25日配信
団体会員キャンプ場、企業約300と、未入会キャンプ場約900カ所に配信

(2) 「オートキャンプロケーションガイド」の刊行・1万部配布と販売

全国のオートキャンプ場の団体正会員280か所の詳細な情報を掲載した「オートキャンプロケーションガイド」1万部を刊行、配布した。

(3) 情報発信と情報交換・交流

インターネットの「ホームページ」による情報提供

- ① キャンプ場やインストラクターが主催するイベントの紹介及び指導者資格認定講習会や経営研究会等の協会行事の告知・報告を行った。
- ② 公認オートキャンプ指導者講習会の年間の開催予定を早い時期に公表して受講希望者への情報提供を向上させた。

SNSによる情報提供

- ① フェイスブック インストラクターに向け、イベントや講師募集などの情報を発信
- ② インスタグラム 一般の方に向け、イベントや講習会の募集等を発信
- ③ ツイッター 協会の情報や、登録キャンプ場と連携し、キャンプ場の情報も発信

(4) 報道機関等への情報提供

- ① 一般紙などのオートキャンプに関する取材に積極的に協力して広報を行った他、ニュースリリース企業「PRタイムズ」を使った配信を行った。
- ② 「オートキャンプ白書 2022」発表会の開催
実施日：2022年7月21日(木)
場所：オンラインで開催
- ③ その他マスコミや報道機関からの電話取材等に協力し、キャンプ人口などのデータを提供するなどオートキャンプの普及促進を図った。
読売新聞(6月16日)
日経新聞(7月16日)
産経新聞(8月17日)
上毛新聞(2月2日)
神奈川新聞(2月6日) 他

(5) オートキャンプに関わる電話及びメールの相談等の実施

オートキャンプに関するさまざまな電話及びメールの相談に対応した。

4. 公認オートキャンプ指導者の養成研修

(1) 「公認オートキャンプ指導者インストラクター資格認定講習会」

① 第45回

- 開催日：2022年5月28日(土)～5月29日(日)
場所：オンライン開催(ZOOM)
主幹：日本オートキャンプ協会
講師：明瀬一裕(JAC会長)、師岡文男(JAC副会長)、小井手雄介(インストラクター)、佐久間亮介(インストラクター)、重信修(インストラクター)、幸

田美季(インストラクター)、安井直子(コーディネーター)、山本大輝(インストラクター)

受講者 : 50名(認定試験合格者50名)

② 第46回

開催日 : 2022年8月27日(土)~28日(日)

場所 : オンライン(ZOOM)

主幹 : 日本オートキャンプ協会

講師 : 明瀬一裕(JAC会長)、師岡文男(JAC副会長)、小井手雄介(インストラクター)、越前麻代(インストラクター)、松本洋之介(JAC常任理事)佐久間亮介(インストラクター)、幸田美季(インストラクター)、山本大輝(インストラクター)

受講者 : 44名(認定試験合格者44名)

③ 第47回

開催日 : 2022年12月3日(土)~4日(日)

場所 : オンライン(ZOOM)

主幹 : 日本オートキャンプ協会

講師 : 明瀬一裕(JAC会長)、師岡文男(JAC副会長)、松本洋之介(常任理事)、小井手雄介(インストラクター)、佐久間亮介(インストラクター)、重信修(インストラクター)、山本大輝(インストラクター)、安井直子(コーディネーター)

受講者 : 23名(認定試験合格者23名)

④ 第48回

開催日 : 2023年3月4日(土)~5日(日)

場所 : オンライン(ZOOM)

主幹 : 日本オートキャンプ協会

講師 : 明瀬一裕(JAC会長)、師岡文男(JAC副会長)、岩田一成(インストラクター)、佐久間亮介(インストラクター)、重信修(インストラクター)、山本大輝(インストラクター)、安井直子(コーディネーター)

受講者 : 30名(認定試験合格者30名)

(2) 公認オートキャンプ指導者(インストラクター、コーディネーター)の認定状況

公認オートキャンプ指導者にはインストラクターとコーディネーターの2つのカテゴリーがあり2023年3月31日現在で認定している指導者数は669名となった。

① 公認オートキャンプ指導者・コーディネーター

2023年3月31日現在 合計 16名(22年3月17名)

② 公認オートキャンプ指導者・インストラクター

2023年3月31日現在 合計 653名(22年3月587名)

5. オートキャンプ場経営に関する研究会の開催

(1)「キャンプ場経営研究会」の開催

開催日：2023年2月1日(水)、2日(木)

場所：オンライン(ZOOM)

参加者：12 キャンプ場

内容：(1)「ライジングフィールドの活動について」

ライジングフィールド代表 森 和成氏

(2)「北海道でのインバウンド事情」

元北海道オートキャンプ協会理事 宮武 清志 氏

(3)参加キャンプ場によるグループディスカッションとその報告

6. オートキャンプ場コンサルテーション事業

(1)オートキャンプ場のコンサルテーション

下記の6カ所でキャンプ場のコンサルテーションを実施した。

- ① 4月4日 広島県北広島市キャンプ場予定地
- ② 7月22日 福島県郡山市のキャンプ場予定地
- ③ 8月18日 千葉県市原市キャンプ場跡地
- ④ 9月16日 広島県福山市キャンプ場予定地
- ⑤ 9月20日 和歌山県紀の川市キャンプ場予定地
- ⑥ 9月21日 三重県伊勢市キャンプ場予定地

(2)キャンプ場経営セミナーの開催

下記の2回のキャンプ場経営セミナーをオンライン(ZOOM)で開催した。

- ① 2022年6月18日(土) 参加者11名
講師 田代嘉宏(常任理事)
- ① 2022年9月28日(水) 参加者15名
講師 洞口健児氏

7. オートキャンプに関する情報の収集・提供及び調査研究

(1)アンケート調査等の実施

時系列の項目のほかに新たなデータの収集項目を追加して、キャンパーの意識調査、用具・用品及びRV・施設関連、オートキャンプ場の実態調査を実施した。また、その結果を「オートキャンプ白書2022」にまとめるとともに、適宜広報紙に掲載発表した。

(2)「オートキャンプ白書 2022」の発行

キャンパーの意識調査、オートキャンプ場、用具・用品及びRV・施設関連の実態調査を行い、オートキャンプの現状及び将来について調査分析し、標題を「好調続くオートキャンプ」とする白書を発行した。

(3)書籍の販売

①オートキャンプ白書 販売数 257 冊

(内 2022 年版 215 冊、21 年版 42 冊、別途電子書籍 34 冊)
(2021 年度販売 372 冊)

②オートキャンプ場建設・管理運営マニュアル 販売数 160 冊(別途電子書籍 37 冊)

(2021 年度販売 379 冊)

8. 関係団体との連絡提携

(1)「アウトドアデイジャパン 2022 東京・福岡・名古屋・札幌・大阪」の開催のために関係省庁及び関係団体との連携を図り、観光庁、環境省、公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本自動車連盟の後援を得た。さらに東京会場については東京都、福岡は福岡県と福岡市、名古屋は愛知県と名古屋市、札幌は北海道・札幌市、大阪は大阪府と大阪市からそれぞれ後援を得た。

(2)新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドライン改訂に当たり観光庁に協力を仰いだ。

9. 国際関係

(1)第91回FICC世界大会 モスクワ大会

開催日 : 2022年7月29日(土)~8月5日(土)

場 所 : ロシア モスクワ

10. 総会・理事会・常任理事会・監査会の開催

(1) 総会・理事会

	開催日	場 所	内 容
第1回理事会	2022年5月26日(木)	事務局・オンライン	事業報告・決算他
2022年度定時総会	2022年6月21日(火)	四谷保健センター	事業報告・決算、監事
第2回理事会	2023年3月23日(水)	協会局・オンライン	事業計画・予算・推薦委

(2) 常任理事会

	開催日	場 所	内 容
第1回	2022年5月18日(火)	協会事務所・オンライン	事業報告決算
第2回	2022年8月3日(水)	協会事務所・オンライン	アウトドアデイ・DX化
第3回	2022年9月29日(木)	協会事務所・オンライン	アウトドアデイ・DX化
第4回	2022年11月17日(木)	協会事務所・オンライン	推薦委員・DX化
第5回	2023年1月26日(木)	協会事務所・オンライン	事業計画・予算案

(3) 監査会

開催日	場 所
2022年5月20日(金)	協会事務所

11. 専門委員会

(1) 総務委員会

委員 長 田代 嘉宏(常任理事)
 副委員 長 北村 則夫(理事)
 委 員 高松 由紀子(常任理事)、
 師岡 文男(副会長)会員管理担当

(2) 事業委員会

委員 長 松本 洋之介(常任理事)
 副委員 長 児玉 嘉明(常任理事)
 委 員 師岡 文男(副会長)広報担当
 佐久間 亮介(インストラクター)

	開催日	場 所	内 容
第1回	2022年9月6日(火)	協会事務所・オンライン	アウトドアデイ・公認規程

12. 会員の状況

(1) 会員数

	内 訳	2023年3月31日	前 年	増 減	
正会員	個人	912名	894名	18	
	団体	キャンプ場	274カ所	271カ所	3
		用具・用品	26社	24社	2
		RV・施設関連	23社	23社	0
		団体小計	323社	318社	5
賛助会員	団体	8社	10社	-2	

(2) 会員種別一覧(2019年度～2022年度)

区分	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	会員数	増減	会員数	増減	会員数	増減	会員数	増減
1. 正会員	1,150	-4 99.7%	1,129	-21 98.2%	1,212	83 107.4%	1,235	23 101.9%
(1) 個人	823	9 101.1%	810	-13 98.4%	894	84 110.4%	912	18 102.0%
(2) 団体	327	-13 96.2%	319	-8 97.6%	318	-1 99.7%	323	5 101.6%
①キャンプ場	284	-11 96.3%	276	-8 97.2%	271	-5 98.2%	274	3 101.1%
②用具・用品	21	-1 95.5%	21	0 100.0%	24	3 114.3%	26	2 108.3%
③RV・施設	22	-1 95.7%	22	0 100.0%	23	1 104.5%	23	0 100.0%
2. 賛助会員 (団体)	10	0 100.0%	11	1 110.0%	10	-1 90.9%	8	-2 80.0%
合 計	1,160	-4 99.7%	1,140	-20 98.3%	1,222	82 107.2%	1,243	21 101.7%

注)各年度3月31日現在の会員数

(3) 団体正会員・賛助会員の入退会

① 団体正会員入会

日付	分類	企業名	県名	代表者名
2022/4/1	キャンプ場	キャンプ民泊 NONIWA	埼玉県	代表 青木 江梨子
2022/4/1	キャンプ場	CAMP 屋うるぎキャンプフィールド	長野県	(株)Foresters Village
2022/4/1	キャンプ場	High Garden	千葉県	ON SCENE 代表 小泉 真
2022/4/1	キャンプ場	LOGOS PARK シーサイド高知須崎	高知県	(株)ロゴスコーポレーション
2022/5/1	キャンプ場	羽鳥湖畔オートキャンプ場	福島県	(株)TACプランニング

2022/5/1	キャンプ場	十勝ワッカの森キャンプ場	北海道	(株)鈴蘭不動産
2022/5/1	キャンプ場	NINOX お山のキャンプ場	新潟県	(株) Frolic
2022/5/1	キャンプ場	かしいのはまビレッジ	福岡県	(株)西鉄エージェンシー
2022/5/1	キャンプ場	見通りオートキャンプ場	福島県	代表 星 伶児
2022/6/1	キャンプ場	PGFキャンプ	千葉県	スマプラ(株)
2022/7/1	キャンプ場	ブウバツの森キャンプ場	北海道	ならの木家 代表 大西 潤二
2022/7/1	キャンプ場	奥武島キャンプ場	沖縄県	(合) PLUK 代表 石坂 達
2022/7/1	キャンプ場	山梨MTBベースオートキャンプ場	山梨県	(株)早野組 代表取締役 早野 潔
2022/8/1	キャンプ場	KITANAGA	北海道	(合) Farm Field
2022/8/1	キャンプ場	KAMOSHIKA EX	滋賀県	(株)かもしかりポート
2022/4/1	用品・用具	Pdx(株)	東京都	代表 寶田 英子
2022/11/1	用品・用具	(株)Mt.SUMI	京都府	代表取締役 清水 克彦
2022/6/1	RV・施設	vivit(株)	東京都	代表取締役 那須 義生
2022/6/1	RV・施設	FLY(株)	東京都	代表取締役社長 木村 隆司

② 団体会員退会

2022/4/1	キャンプ場	羽島湖畔オートキャンプ場	福島県	(株)天栄村振興公社
2022/4/1	キャンプ場	せりざわ村みんなのキャンプ場	栃木県	代表 内山 裕介
2022/4/1	キャンプ場	芦安キャンプサイトNo2	山梨県	代表 宮崎 俊太
2022/4/1	キャンプ場	大洗キャンプ場	茨城県	大洗町
2022/8/1	キャンプ場	三原市棲真寺山オートキャンプ場	広島県	Nスタキャンプ空の庭
2022/9/1	キャンプ場	御殿場まるびオートキャンプ場	静岡県	まるび観光株式会社
2022/12/1	キャンプ場	エンゼルフォレスト那須白河	福島県	(株)エンゼル那須白河
2022/12/1	キャンプ場	片添ヶ浜海浜公園	山口県	周防大島町
2023/2/1	キャンプ場	利賀国際キャンプ場	富山県	(一財)利賀ふるさと財団
2023/3/31	キャンプ場	ピンネシリオートキャンプ場	北海道	(一社)なかとんべつ観光まちづくりビューロー
2023/3/31	キャンプ場	岩手山焼走り国際交流村	岩手県	(株)宿かり屋ドットコム
2023/3/31	キャンプ場	白浜荘オートキャンプ場	滋賀県	代表 前川 為夫
2022/4/1	RV・施設	(株)タナカ	茨城県	代表 田中 勇人
2022/7/1	RV・施設	キャンピングカー(株)	東京都	代表 頼定 誠
2023/3/31	RV・施設	エアストリーム・ジャパン(有)	埼玉県	代表 田中 孝一

③ 賛助会員退会

2022/12/1	賛助会員	塩業共栄会	東京都	代表取締役 橋本 慎司
2023/3/31	賛助会員	大塚食品(株)	東京都	取締役会長 牧瀬 篤正

＜正味財産増減計算書＞

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	22,198,900	22,078,500	120,400
正会員	21,348,900	21,178,500	170,400
賛助会員	850,000	900,000	▲ 50,000
② 受取助成金	9,800,000	8,800,000	1,000,000
受取国庫助成金	1,000,000	0	1,000,000
受取民間助成金	8,800,000	8,800,000	0
③ 事業収益	105,980,918	47,428,192	58,552,726
④ 雑収益	673,820	1,016,342	▲ 342,522
関係団体協力金	100,000	100,000	0
事務受託金	0	335,946	▲ 335,946
受取利息	665	582	83
雑収益	573,155	579,814	▲ 6,659
経常収益計	138,653,638	79,323,034	59,330,604
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業管理費	10,299,838	9,462,293	837,545
役職員退職給付支出	0	0	0
職員退職掛金支出	538,800	523,200	15,600
普及促進費	80,295,323	24,065,310	56,230,013
相談及び支援事業費	10,038,799	12,326,468	▲ 2,287,669
養成研修費	886,849	1,101,248	▲ 214,399
広報活動費	2,655,118	2,456,119	198,999
調査研究費	1,818,833	1,703,053	115,780
連絡提携費	300,911	598,158	▲ 297,247
事業費用	3,497,132	4,372,770	▲ 875,638
減価償却費	1,049,020	758,755	290,265
事業費計	111,380,623	57,367,374	54,013,249
② 管理費			
給料手当	8,319,798	7,610,305	709,493
役職員退職給付支出	0	0	0
役職員退職給付費用	331,577	▲ 4,253,507	4,585,084
職員退職掛金支出	537,200	500,800	36,400
福利厚生費	1,339,376	1,270,313	69,063
会議費	238,371	198,293	40,078
旅費及び交通費	202,802	198,389	4,413
通信運搬費	826,583	1,028,692	▲ 202,109
印刷製本費	0	0	0
賃借費	3,869,835	3,747,286	122,549
備品購入費	0	292,600	▲ 292,600
消耗品費	395,684	126,370	269,314
光熱水費	343,025	290,476	52,549
渉外費	4,985	0	4,985
租税公課	2,386,634	1,672,980	713,654
雑費	1,353,726	1,781,450	▲ 427,724
管理費計	20,149,596	14,464,447	5,685,149
経常費用計	131,530,219	71,831,821	59,698,398
当期経常増減額	7,123,419	7,491,213	▲ 367,794
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	7,123,419	7,491,213	▲ 367,794
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	7,053,419	7,421,213	▲ 367,794
一般正味財産期首残高	▲ 917,094	▲ 8,338,307	7,421,213
一般正味財産期末残高	6,136,325	▲ 917,094	7,053,419
II 正味財産期末残高	6,136,325	▲ 917,094	7,053,419

＜貸借対照表＞

2023年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	65,859	109,095	▲ 43,236
普通預金	39,603,122	22,553,420	17,049,702
定期預金	101,570	101,568	2
郵便振替	12,158,119	8,265,697	3,892,422
未収入金	297,478	427,847	▲ 130,369
前払金	4,919,025	4,274,196	644,829
貯蔵品	155,849	197,607	▲ 41,758
仮払金	20,000	0	20,000
流動資産合計	57,321,022	35,929,430	21,391,592
2 固定資産			
(1)特定資産			
役職員退職給付引当資産	19,600,000	15,600,000	4,000,000
特定資産合計	19,600,000	15,600,000	4,000,000
(2)その他の固定資産			
ソフトウェア	2,889,450	2,328,345	561,105
電話加入権	244,968	244,968	0
保証金	1,100,000	1,100,000	0
出資金	20,000	20,000	0
その他の固定資産合計	4,254,418	3,693,313	561,105
固定資産合計	23,854,418	19,293,313	4,561,105
資産合計	81,175,440	55,222,743	25,952,697
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,820,060	1,344,309	475,751
預り金	482,672	373,452	109,220
前受金	49,817,430	31,834,700	17,982,730
流動負債合計	52,120,162	33,552,461	18,567,701
2 固定負債			
役職員退職給付引当金	22,918,953	22,587,376	331,577
固定負債合計	22,918,953	22,587,376	331,577
負債合計	75,039,115	56,139,837	18,899,278
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	6,136,325	▲ 917,094	7,053,419
正味財産合計	6,136,325	▲ 917,094	7,053,419
負債及び正味財産合計	81,175,440	55,222,743	25,952,697

＜財産目録＞

2023年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	57,321,022
(1) 現 金	65,859
(2) 普通預金	39,603,122
三菱UFJ銀行 銀座支店	3,428,791
三井住友銀行 麹町支店	83,329
みずほ銀行 四谷支店	32,264,160
東京東信用金庫 四谷支店	3,826,842
(3) 定期預金	
東京東信用金庫 四谷支店	101,570
(4) 郵便振替 (東京貯金事務センター)	12,158,119
(5) 未収入金 (BASE・ストアーズ売上金他)	297,478
(6) 前払金 (事務所家賃更新料、オートキャンプ白書2023経費他)	4,919,025
(7) 貯蔵品 (切手・指導者オリジナルグッズ他)	155,849
(8) 仮払金(ODJ2023東京おつり資金)	20,000
2. 固定資産	23,854,418
(1) 特定資産	23,854,418
退職給付引当資産 定期預金 (東京東信用金庫/四谷支店)	19,600,000
特定資産計	19,600,000
(2) その他の固定資産	
電話加入権	244,968
ソフトウェア	2,889,450
保証金 清重ビル	1,100,000
出資金 東京東信用金庫 四谷支店	20,000
その他固定資産計	4,254,418
資 産 合 計	81,175,440
II 負債の部	
1. 流動負債	52,120,162
(1) 未払金 (消費税、法人事業税、社会保険料)	1,820,060
(2) 預り金 (職員社会保険料他)	482,672
(3) 前受金 (2023年度会費、アウトドアデイジャパン2023出展料他)	49,817,430
2. 固定負債	22,918,953
(1) 退職給付引当金(職員の退職給付に備えるもの)	22,918,953
負 債 合 計	75,039,115
正 味 財 産	6,136,325

財務諸表に関する注記

1. 消費税の会計処理

税込処理を実施している。

2. 受取会費は、年度基準を採用している。

3. 役職員退職給付引当資産

年度末における役職員退職給付引当資産は、次のとおりである。

(単位:円)

	前年度末	当年度	当年度末(累計)
役職員退職給付引当資産	15,600,000	4,000,000	19,600,000

4. 役職員退職給付引当金

年度末における役職員退職給付引当金は、次のとおりである。

(単位:円)

	前年度末	当年度	当年度末(累計)
役職員退職給付引当金	22,587,376	331,577	22,918,953

5. 職員の退職掛金

職員の退職時の退職金の一部に充てるため、中小企業退職金共済法に基づく中小企業退職金共済制度(運用は、独立行政法人中小企業基金整備機構。以下「機構」という。)を導入し、毎年機構に掛金として支出している。当年度末の掛金合計額は次のとおりである。

(単位:円)

	前年度末(累計)	当年度	当年度末(累計)
掛 金	5,724,654	1,410,400	7,135,054

6. 助成金の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高

助成金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

助成金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(国庫助成金) 1.令和4年度「事業復活支援金」	経済産業省	—	1,000,000	1,000,000	—	—
(民間助成金) 1.令和4年度公設キャンプ場整備事業 (集会用テント(32張)配布事業)	一般財団法人 日本宝くじ協会	—	8,800,000	8,800,000	—	—
合 計		—	9,800,000	9,800,000	0	—

*消費税を含む。

7. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産
定額法によっている。

8. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	244,968	0	244,968
ソフトウェア	5,850,225	2,960,775	2,889,450
合計	6,095,193	2,960,775	3,134,418


一般社団法人日本オートキャンプ協会
会長 明瀬 一裕 殿

監 査 報 告 書

一般社団法人日本オートキャンプ協会の2022年度（自2022年4月1日
至2023年3月31日）決算にあたり、事業報告書、正味財産増減計算書、
貸借対照表、財産目録及び証憑について監査した結果、いずれも適正である
ことを認めます。

2023年5月24日

監 事

緒方篤朗 

監 事

三井裕一 

